

# 2019 年度事業報告

2019 年 4 月 1 日より 2020 年 3 月 31 日まで

## 1. 【事業成果】

2019 年度事業は、従来どおり部会活動及び事業部運営を基本に活動を進めてきており、新しい取り組みも取り入れながら、計画を超える成果をだすことができた。しかし、年度末に「新型コロナウイルス感染拡大問題」が発生し、いくつかの事業を中止せざるを得なかったのは残念であった。

「生物多様性保全部会」は、宇都宮共和大学の支援をいただき、次代を担う子どもにスポットあてた企画で大きな評価を得た。3 年間の実績を踏まえ、次年度はさらに活動領域を広げたい。

「里山保全部会」は、月例の整備作業に一般の参加者が増え楽しむ活動の輪が広がった。また、環境学習センターの支援事業として「みずほの自然探検隊」の企画運営を牽引した。

「再生可能エネルギー部会」は、月例勉強会を継続、「我が家のエネルギー消費」の調査結果を環境大学で発表、昨年度から準備をしてきた「出前授業」を開始し評価をいただいている。環境学習センターの支援事業として「環境大学見学会」「再エネ施設見学会<中止>」の企画運営を行った。

また、「情報部会」は、ホームページで活動状況をこまめにアップすることができた。もったいないフェアなど環境イベントにも積極的に参加し、フォーラム活動を発信した。

受託事業である宇都宮市環境学習センターは、指定管理者第 3 期（元年度～5 年度）の初年度を終了した。年間利用者 35,000 人の目標を掲げ、職員が一丸となって頑張ってきたが、台風 19 号による閉館（2 日間）の影響（214 人）や、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、3 月実施予定の講座やイベントを中止した影響（3,411 人）により、目標を達成することはできなかった。

今年度の特徴として次の 2 点がある。

- ・県助成金 5 万円を得て、再エネ部会で開始した「出前授業」で使用する実験器材を準備した。
- ・宇都宮市 SDGs 人づくりプラットフォーム会員に団体登録し、情報発信力を強化した。

## 2. 【事業計画と成果】（細部は別添資料「2019 年度事業実施報告書」を参照）

(1) 各主体の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業

事業計画	成果
<p>1) ホームページの運用</p> <p><b>【運営：情報部会】</b></p> <p>ホームページの内容を充実し活動の見える化を進める。各主体の環境情報にリンクさせ、情報交流の中心的役割を目指し、機能の充実を図る。</p> <p>さらにメルマガ等を活用し、会員へのホットな情報発信にも努める。</p>	<p><b>【運営：情報部会】</b></p> <p>維持しやすくなったホームページを生かしてフォーラム活動を年間 53 回とほぼ毎週 1 回の割合で情報をアップできた。</p> <p>今後も、メルマガ発信を進めるとともに、SNS 活用を強化したい。</p>
<p>2) 会報誌（Eco together）の発行</p> <p><b>【運営：情報部会】</b></p> <p>特集記事の企画、会員の登場、他団体と連携した紙面づくりを行い、タイムリーな環境情報を掲載する。2019 年度も写真を多用し、より親しみやすい会報誌づくりを心がける。</p> <p>発行予定回数：4 回（6 月、9 月、12 月、3 月）</p> <p>配布先： 従来の会員に加え関係団体・機関へも配布</p>	<p><b>【運営：情報部会】</b></p> <p>会報誌（Eco together）の発行</p> <p>部会活動を中心に写真を多用した親しみやすい紙面構成にした。「会員レポート」「子育てママのひとこと」など新しい企画も取り入れた。</p> <p>・発行回数：4 回（6 月、9 月、12 月、3 月）</p> <p>・配布先：会員、関係団体、一般</p> <p><b>【発行部数 約 220 部 * 4 回】</b></p>

<p>3) 環境イベントへの参画</p> <p><b>【運営：情報部会】</b></p> <p>下記の環境イベントに参加しフォーラムのPRと入会活動に努める。</p> <p>① もったいないフェア（9月予定） 場所：宇都宮城址公園</p> <p>② エコテック&amp;ライフとちぎ（12月予定） 場所：マロニエプラザ</p> <p>③ その他環境イベント</p>	<p><b>【運営：情報部会】</b></p> <p>① もったいないフェア 2019 9月28日（土） ブース体験者 250人</p> <p>② エコテック&amp;ライフとちぎ 2019 11月30日（土） 同 95人</p> <p>③ 環境学習センター「チャレンジもったいない 2019」 8月24日（土） 同 45人</p> <p>④ 環境学習センター「エコまつり 2020」 3月7日（土）～8日（日）＜中止＞</p> <p>⑤ ミヤラジ「エコミヤ（60分）」に出演 ・生物多様性保全部会 1月8日（水） ・再生可能エネルギー部会 2月5日（水）</p> <p><b>【参加者合計（スタッフ含む）：約410人】</b></p>
<p>3) その他</p>	<p>◆2019年度フォーラム新規加入者数 4人</p> <p>◆宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム会員に団体登録</p>

(2) 各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：生物多様性保全部会】</b></p> <p>行政、他団体、学生等と協力して、生物多様性保全に関する事業を展開する。</p> <p>① 生物多様性を楽しみながら身近に感じられる取組の実施</p> <p>② 生物多様性を理解することができる、わかりやすい教材づくり</p>	<p><b>【運営：生物多様性保全部会】</b></p> <p>次代を担う子どもにスポットをあてた企画を宇都宮共和大学の支援を受け実施した。</p> <p>① 第1回「親子で楽しく自然体験」 8月4日（日）@環境学習センター 33人</p> <p>② 第2回「親子で楽しく自然体験」 1月25日（土）@環境学習センター 30人</p> <p>☆ミヤラジに出演し、活動実績を紹介。 ☆壁新聞を制作し、活動成果を紹介 (環境学習センターに掲示)</p> <p><b>【参加者合計（事前訓練含む）：約120人】</b></p>
<p><b>【運営：里山保全部会】</b></p> <p>里山環境の保全と環境学習の場を提供する。</p> <p>① 里山の保全活動： 毎月第3日曜日午前中に保全作業を行う。</p> <p>② 環境学習センター事業支援： 「みずほの自然探検隊」の企画・運営支援を行う。</p>	<p><b>【運営：里山保全部会】</b></p> <p>① 里山環境の保全を継続して実施した。 (毎月第3日曜日) 場所： みずほの里山保全地 参加者： 延べ152人（年13回開催）</p> <p>② 親子で参加する「みずほの自然探検隊」の企画運営を行った。 場所： みずほの里山保全地 参加者： 延べ150人（年10回開催）</p> <p><b>【参加者合計（スタッフ含む）：約300人】</b></p>

<p><b>【運営：再生可能エネルギー部会】</b>  COP21 パリ協定が発効し、世界は脱炭素社会実現に向けて舵をきり、改めて再生可能エネルギーの重要性が注目されている。  遅れている日本の再生可能エネルギーの創出の実態・課題・今後の普及可能性等を探るとともに、環境学習の場を提供する。</p> <p>① 勉強会・施設見学会・実践者を講師にした研修会の実施等（毎月）  ② 部会員の追加募集  ③ 環境学習センター事業の支援  ・「栃木の再生可能エネルギー施設見学会（地域エネルギーの有効活用他）」の企画運営、  ・「環境大学」の企画運営、「チャレンジもったいない」「エコまつり」等環境イベントへの参加</p>	<p><b>【運営：再生可能エネルギー部会】</b></p> <p>① 月例勉強会を毎月実施、  7月「環境大学」で成果発表  8月「出前授業」を開始  ◆県助成金5万円を得て実験器材準備  10月 国立環境研究所を訪ね研修</p> <p>② 新規部員 2人（現在会員14人）  ③ 環境学習センター等支援事業  8月「チャレンジもったいない2019」に出展  8月「環境大学見学会」を企画運営  11月「ECOテック&amp;ライブ2019」に出展  3月「エコまつり2020」に出展予定&lt;中止&gt;  3月「施設見学会」を企画運営予定&lt;中止&gt;</p> <p><b>【参加者合計（スタッフ含む）：約540人】</b></p>
---	---

(3) テーマに応じた環境の企画・実践に係る事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：事務局】</b>  体験・見学等を通して「環境」に  気づく機会を提供する。</p> <p>① 野鳥観察会  （日本野鳥の会栃木県支部との連携事業）  ② プチ農業体験プロジェクト  （地元さつきプロジェクトチームとの連携事業）  8年目を迎える今年度は、規模を縮小し「畑あそび」を通じて自然の恵・大切さを知る  ③ その他</p>	<p><b>【運営：事務局】</b></p> <p>① 野鳥観察会を、日本野鳥の会栃木県支部と共催  12月7日(土)@県中央公園 47人  ② プチ農業体験プロジェクト（地域活動支援事業）  地元さつきプロジェクトチームとの共催で、  「畑あそび」をテーマに規模を縮小して実施。  5月 イチゴ摘み 67人 @針ヶ谷農地  2月 凧揚げ&amp;トン汁大会 &lt;中止&gt;  ③ なし</p> <p><b>【参加者合計（スタッフ含む）：約120人】</b></p>

(4) 宇都宮市環境学習センター受託事業

事業計画	成果
<p><b>運営：学習センター事業部】</b>  2019年度は、指定管理者第3期の初年度にあたる。年間利用者は2年連続で、3万5千人の万台を超えるなど、安定した実力がついてきた。  引き続き事業の質的向上を図り、さらなる飛躍を図りたい。宇都宮市の環境学習拠点施設としてさらに認知度を高めるとともに、市民ニーズを的確に把握し、次の各機能を充実させる。  また、支持母体であるフォーラムとの事業連携も深めながら、ESDやSDGsを意識した運営を進めたい。</p>	<p><b>【運営：学習センター事業部】</b>  指定管理者第3期初年度は、「第3次環境基本計画」、「生きものつながりプラン」に掲げられた数値目標を達成するため、講座内容を見直し、環境学習系を強化した。  結果としては、台風19号の影響（214人減）と新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月の講座・イベントを中止した影響（3,411人減）により、利用者数は、31,581人となり、年度目標35,000人を大きく下回った。上記影響による減員分3,625人を加算すると、利用者数は推計で約35,206人となり、目標を達成できたものと考えている。</p>

<p>1) 環境学習機会提供機能</p> <p>「地球温暖化」と「生物多様性」を重点テーマに、講座・展示の充実を図るとともに、新しい参加者層獲得のためきめ細かい活動を展開する。</p> <p>また、2015年度末に「宇都宮市環境基本計画」が改定され、「生きものつながりプラン」が策定された。これら計画に掲げられた数値目標の達成を図るとともに、環境学習拠点施設としての役割を果たしていく。</p> <p>2) 活動支援機能</p> <p>「こどもエコクラブ」の事務局として、交流会を実施するなど、引き続き活動を支援する。</p> <p>さらに、学習センターで活動している「自主活動グループ(13グループ)」の活性化を図る。</p> <p>また、フォーラム会員へボランティアサポーターとしての活動支援参加を働きかける。</p> <p>3) 交流促進機能</p> <p>自主活動グループ、地元自治会、各種団体、地元高校、企業等の支援をいただき今年度も「エコまつり」「チャレンジもったいない」等を実施し、新たな市民の参加を促進する。</p> <p>4) 情報提供機能</p> <p>新たに年間活動報告書を作成配布、ホームページ(FaceBook含む)での情報発信力強化、1階展示場の改善、再生品提供事業・視聴覚教材・各種環境団体などの情報提供の充実を図る。</p> <p>5) 体質強化機能</p> <p>市民サービスを支えるスタッフ資質向上のため教育研修を継続する。</p> <p>6) 市民サービスの向上</p> <p>フォーラムを含め外部評価を積極的に実施し事業運営に反映する。</p> <p style="text-align: center;"><b>【利用者目標人数 35,000人】</b></p>	<p>1) 環境学習機会提供機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「再生可能エネルギー」と「食品廃棄物」をテーマに環境大学(5回連続シリーズを2回)、生物多様性連続講演会を2回実施するとともに、セミ羽化観察会、足尾で植樹、渡良瀬遊水地での講義と保全活動、奥日光の生物多様性の講義と現地観察会などを実施した。</li> <li>・見学者数は、小学校、自治会、団体等の見学の減に伴い、前年度に比べ減少した。</li> </ul> <p>2) 活動支援機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当センターが運営する「環境未来館こどもエコクラブ」と「みずほの自然探検隊」の活性化に努めた。</li> <li>・自主グループは、前年度と同様、13グループで、活性化に努めてきた。件数、人数とも前年度とほぼ同じであった。</li> <li>・また、「チャレンジもったいない」や自然系の講座では、多くのフォーラム会員の皆さまにスタッフとしてサポートしていただいた。</li> </ul> <p>3) 交流促進機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮工業高校と連携し、廃棄自転車を利用した小水力発電装置と太陽電池パネル発電装置(ハイブリッド発電)を釜川に設置した。</li> <li>・「チャレンジもったいない」は、自主活動G、環境団体、地元高校等の支援を得て開催し、多くの来場者を得て成功裏に終了した。</li> </ul> <p>4) 情報提供機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを活用し、情報発信力を強化した。また、フェースブックにより、情報をリアルタイムで発信してきた。訪問者数、アクセス回数とも減少傾向にあり、より旬な情報の提供に努めている。</li> </ul> <p>5) 体質強化機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研修等を毎月1回以上実施し、職員のスキルアップに努めたほか、朝会、夕会等で情報の共有化等に努めた。</li> </ul> <p>6) 市民サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各講座でアンケート調査を実施。また、館内に意見箱を設置し、ニーズ/クレームを継続的に把握し対応した。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【実績人数：31,581人(前年度比87%)】</b></p>
--	--